



**2025年8月期第2四半期（中間期）
決算説明資料**

ペイクラウドホールディングス株式会社
東証グロース：4015
2025年4月14日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 事業別業績・指標
4. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

2025年8月期 第2四半期 (中間期) 連結業績概況 及び最新情報

1. 売上高 **4,838**百万円 (対前年同期比 +143.1%)
調整後EBITDA **679**百万円 (" +199.9%)
営業利益 **404**百万円 (" +370.3%) を計上
過去最高の2Q業績。
2. 2Q業績も1Q業績につづき、想定を上回り推移。
例年どおり、12月のキャッシュレスサービス事業における決済額の増加等
により、売上・利益が伸長。デジタルサイネージ関連事業も引き続き好調。
3. 期初予想に対する営業利益の進捗は、80%超。
期初の業績予想は、デジタルサイネージ関連事業の業績変動、HDの新規
事業^(注)の業績見通しを見極める必要があり、現時点では据え置く。
4. 米国の関税政策による業績への影響は現状無い。

2025年8月期 第2四半期（中間期）連結業績概況

売上高／前年同期比／対通期進捗率

4,838百万円 / **+143.1%**
+2,847百万円 / **53.7%**

- 2024年8月期2Q業績は、クラウドポイント社の経営統合前であり、同社の業績は非連結。2025年8月期から通期で業績を連結。および各事業の足もとの業績好調により、2,847百万円増加。

調整後EBITDA／前年同期比／対通期進捗率

679百万円 / **+199.9%**
+453百万円 / **67.9%**

- 上記売上高の考察の要因により調整後EBITDA、営業利益も想定を上回る結果。

営業利益／前年同期比／対通期進捗率

404百万円 / **+370.3%**
+318百万円 / **80.9%**

※調整後EBITDAは営業利益、減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）株式報酬費用の合計

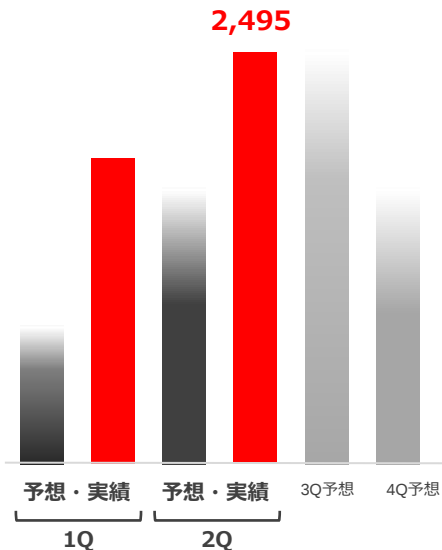
2025年8月期 第2四半期（中間期）の業績について

各事業の業績は、想定を上回る順調な伸長。

3Qは想定通りに推移すると考えており、デジタルサイネージ関連事業については季節要因による高需要を期待している。

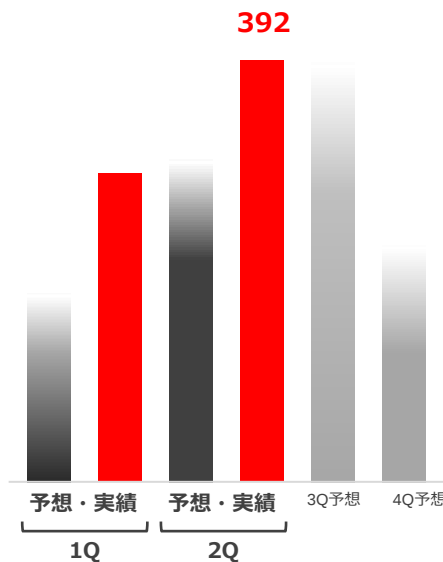
売上高

（単位：百万円）



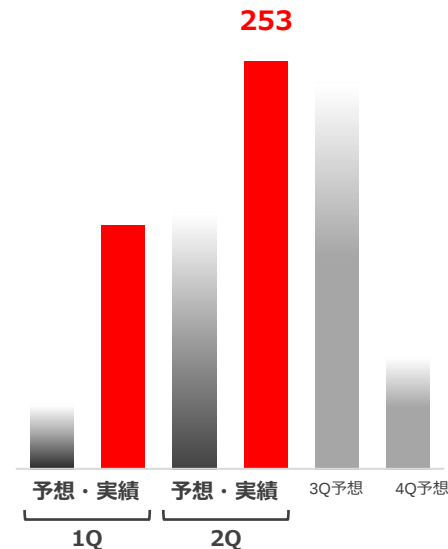
調整後EBITDA

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



（注）2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）＋株式報酬費用

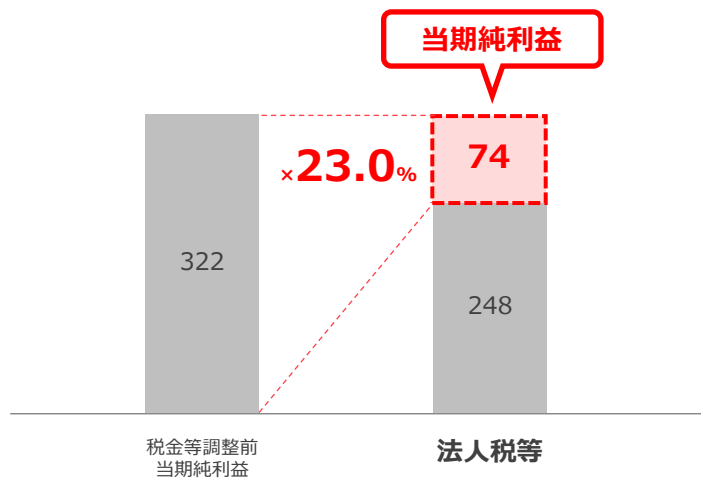
2025年8月期 第2四半期（中間期）の税前利益に対する純利益比率について

2024年8月期： 当社国内グループ企業内で課税対象利益を抑えることができる「グループ通算制度^(注1)」は非適用。
 当期純利益は74百万円で、税金等調整前当期純利益に対し23.0%。

2025年8月期： 本制度の適用などにより、2Q税前利益に対し純利益額は52.5%に改善し、213百万円を計上。

2024年8月期（通期）

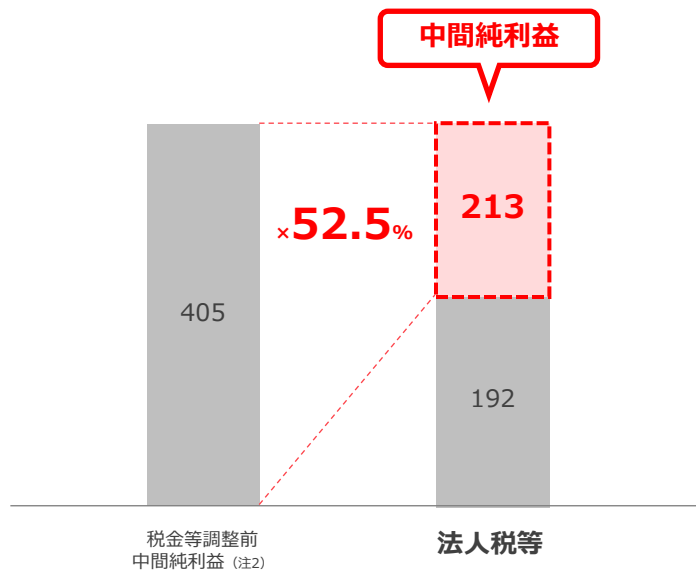
（単位：百万円）



グループ
通算制度導入

2025年8月期（2Q）

（単位：百万円）



(注1) 2024年9月2日公表「グループ通算制度の適用開始に関して」を参照。

(注2) ベイクラウドホールディングスでの新株予約権戻入益を含む。

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

2025年8月期 第2四半期（中間期）業績概要（連結損益計算書）

前年同期比で、連結売上高は+2,847百万円（+143.1%）、調整後EBITDAは+453百万円（+199.9%）増加。
2025年8月期通期業績予想に対する進捗率も順調に推移。

（単位：百万円）

	2024年8月期 2Q	2025年8月期 2Q	増減	通期業績		主な要因
				予想	進捗率	
売上高	1,990	4,838	+143.1% +2,847	9,000	53.7%	・売上高： 2024年8月期2Q業績は、クラウドポイント社の経営統合前であり、当該社の業績は非連結。2025年8月期から通期で業績を連結。および各事業の足もとの業績好調により、2,847百万円増加。
調整後EBITDA	226	679	+199.9% +453	1,000	67.9%	
営業利益	86	404	+370.3% +318	500	80.9%	
経常利益	77	397	+413.5% +319	—	—	・調整後EBITDA・営業利益： 上記売上高の考察の要因により調整後EBITDA、営業利益も想定を上回る結果。 デジタルサイネージを除いた場合でも営業利益率は前年同期比で2.96%改善。
税金等調整前 中間純利益	77	405	+424.1% +328	—	—	
中間純利益	▲14	213	— +227	—	—	・純利益： グループ通算制度の適用等により増益効果あり

2025年8月期 第2四半期（中間期）業績推移（連結損益計算書）

四半期単位の業績について、前年同期比で連結売上高は+1,544百万円（+162.3%）、調整後EBITDAは+286百万円（+269.8%）増加。

（単位：百万円）

2025年8月期 （四半期単位）	2025年8月期 1Q	2025年8月期 2Q	前年同期比 （額・%）	前四半期比	主な要因
売上高	2,342	2,495	+1,544 +162.3%	+153 +6.54%	キャッシュレスサービス 事業については、手数料料 率の改定による手数料売 上の増加。 デジタルサイネージ関連 事業については、1Q同 様、多店舗・商業施設で の導入が堅調に推移。
調整後EBITDA	287	392	+286 +269.8%	+105 +36.5%	
営業利益	151	253	+217 +607.8%	+101 +66.7%	
経常利益	149	247	+216 +698.5%	+97 +65.2%	
四半期純利益	65	148	+160 —	+83 +127.4%	

2025年8月期 第2四半期（中間期）業績概要（連結貸借対照表）

2024年10月21日に開示した「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ」（注1）に基づき、2024年12月31日の効力発生を受け、貸借対照表の純資産の部における勘定科目間の振替を実施。

2024年8月期 期末 (単位：百万円)

流動資産 4,834	流動負債 2,803
現預金 3,228	買掛金 378
受取手形、売掛金・ 契約資産 1,090	借入金 704
棚卸資産 375	その他 1,684
	固定負債 1,243
	長期借入金 1,096
	純資産 4,215 (自己資本比率50%)
固定資産 3,428	資本金 1,021
のれん 2,259	資本剰余金 4,805
投資その他 207	利益剰余金 -1,659
資産の部	負債及び純資産の部
総資産 8,262	

2025年8月期 2Q末 (単位：百万円)

流動資産 5,028	流動負債 2,802
現預金 3,253	買掛金 582
受取手形、売掛金・ 契約資産 1,195	借入金 938
棚卸資産 456	
	固定負債 1,003
	長期借入金 914
	純資産 4,522 (自己資本比率53%)
固定資産 3,300	資本金 1,052
のれん 2,130	資本剰余金 3,016
	利益剰余金 372
資産の部	負債及び純資産の部
総資産 8,328	

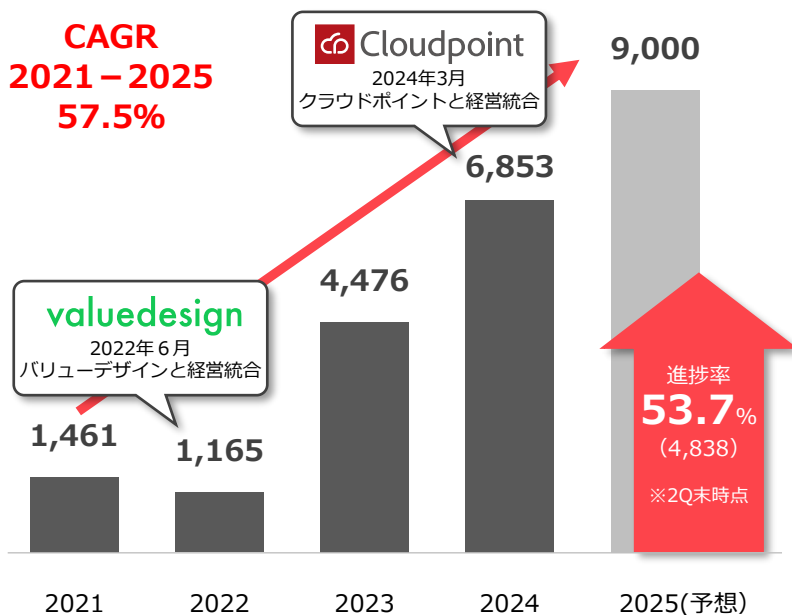
(注1) 2024年10月21日開示「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ」
(<https://global-assets.irdirect.jp/pdf/tdnet/batch/140120241015598189.pdf>) を参照。

上場後の着実な成長

コロナ禍の2020年11月にマザーズ（現グロース）市場への上場以降、経営統合とオーガニックグロースで着実に業績を伸長。東証の「市場区分の見直しに関するフォローアップ」会議でも求められている「高い成長を志向する経営」に沿って、今後も業績拡大を目指す。

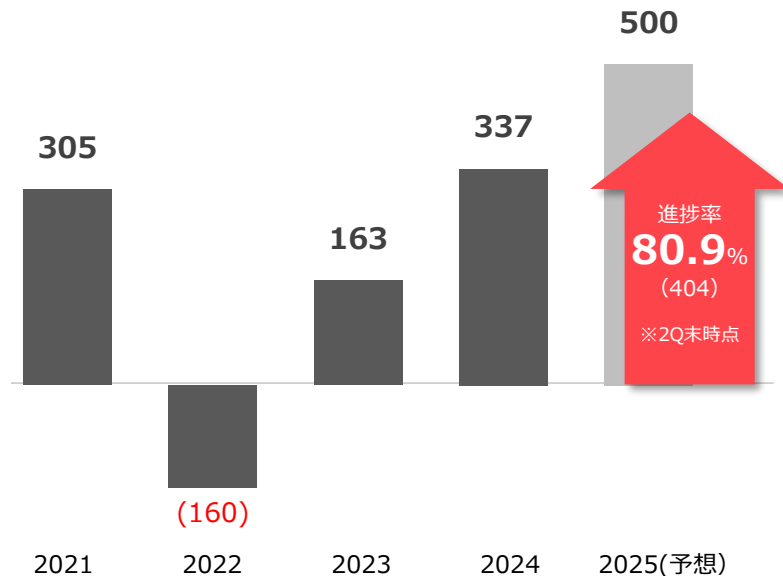
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



（注）2021年8月期は、単体決算。2022年8月期以降は連結決算

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

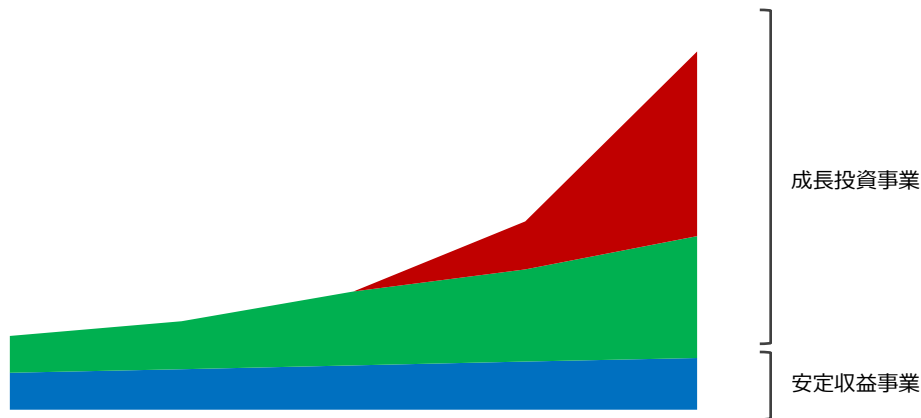
3. 事業別業績・指標

4. Appendix

2025年8月期 第2四半期（中間期）事業別業績 | 全体

各事業の位置づけと売上構成は、以下の通りです。

各事業の位置づけ



成長投資事業

キャッシュレスサービス事業

決済手数料収入を中心とした
リカーリングビジネス

デジタルサイネージ関連事業

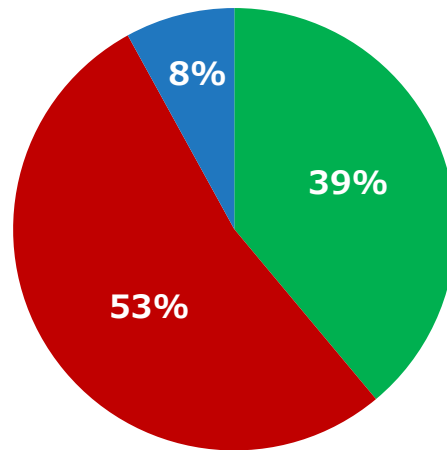
新規設置と定期的にリプレイスオー
ダーがあるスポットビジネスと保
守・システム 利用料のリカーリン
グビジネス

安定収益事業

ソリューション事業

低い解約率で、安定的な収益を確保
するリカーリングビジネス

売上高構成 (2025年8月期 第2四半期実績)



■ キャッシュレスサービス事業

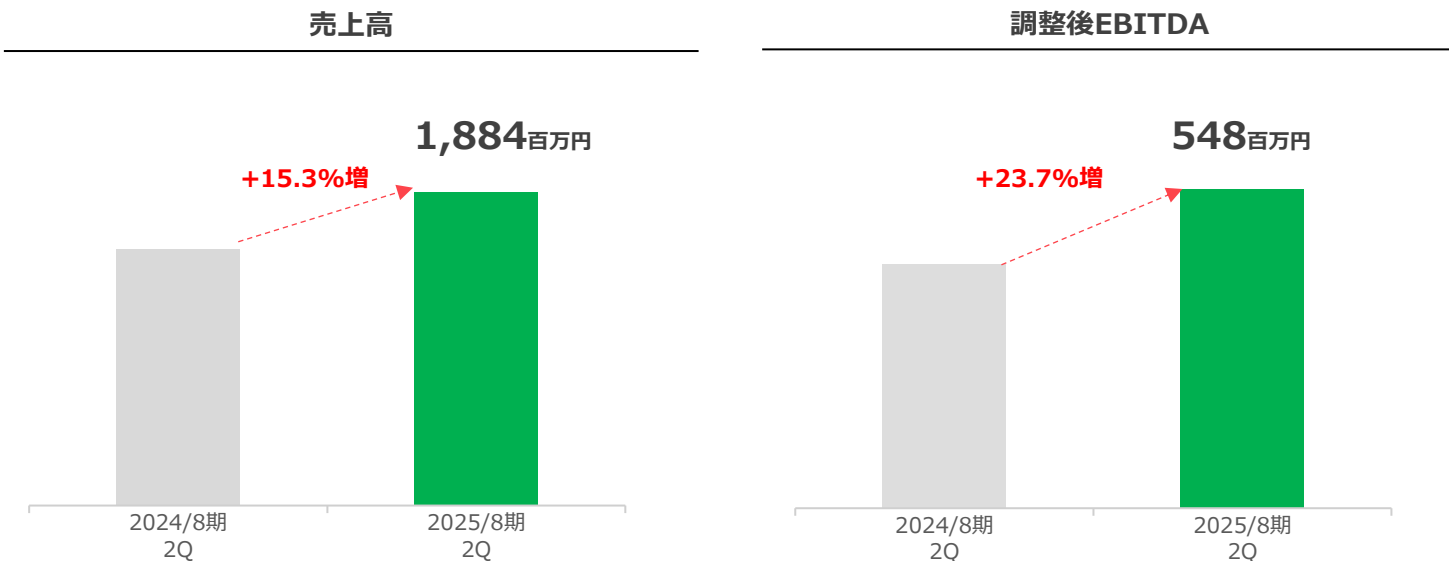
■ デジタルサイネージ関連事業

■ ソリューション事業

2025年8月期 第2四半期（中間期）キャッシュレスサービス事業の業績

当中間連結会計期間における売上高は前年同期比で251百万円増の1,884百万円。

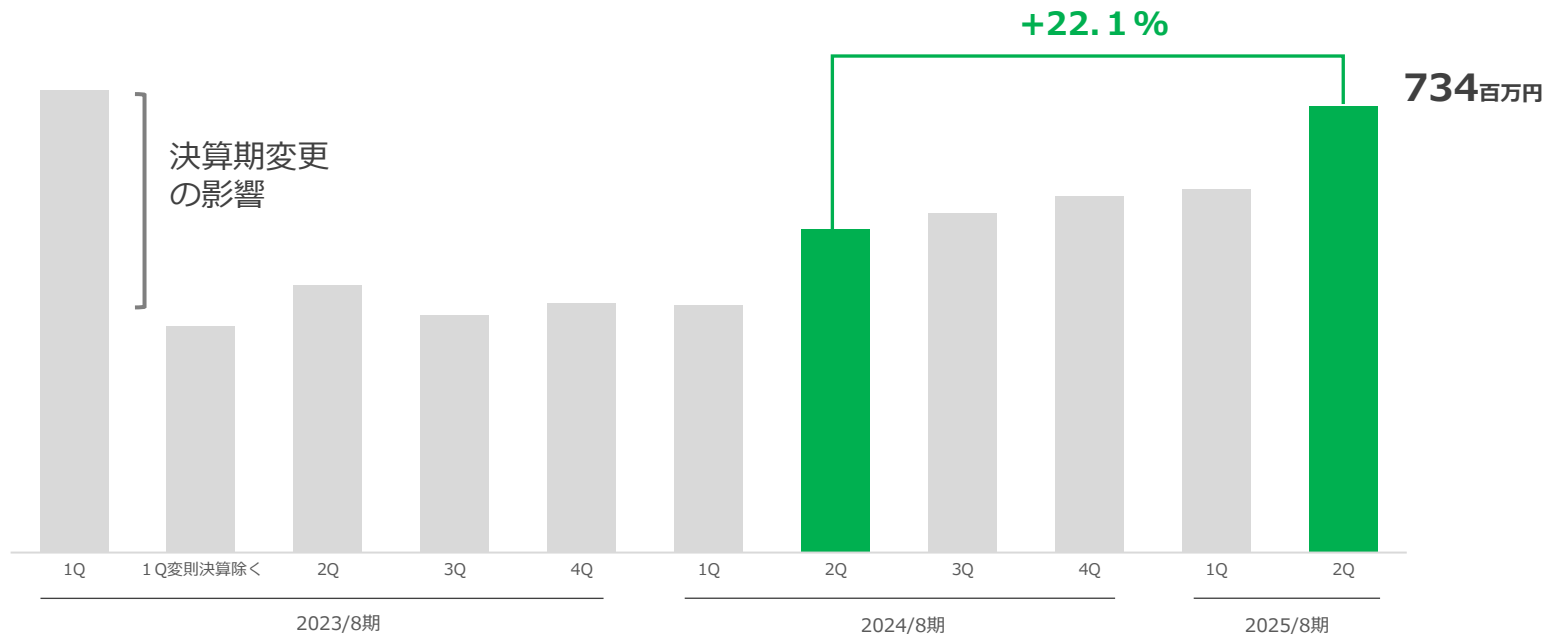
既存顧客に対するシステム利用料の価格改定が浸透したことにより売上高が増加。初期売上の利益率改善により、EBITDAも伸長。



キャッシュレスサービス事業のリカーリング売上について

当中間連結会計期間におけるリカーリング売上は、1,378百万円。第2四半期単体では734百万円と堅調に推移。前年同期比+22.1%。既存顧客に対する新規サービス（オンラインチャージ等）のクロスセルが、順調。

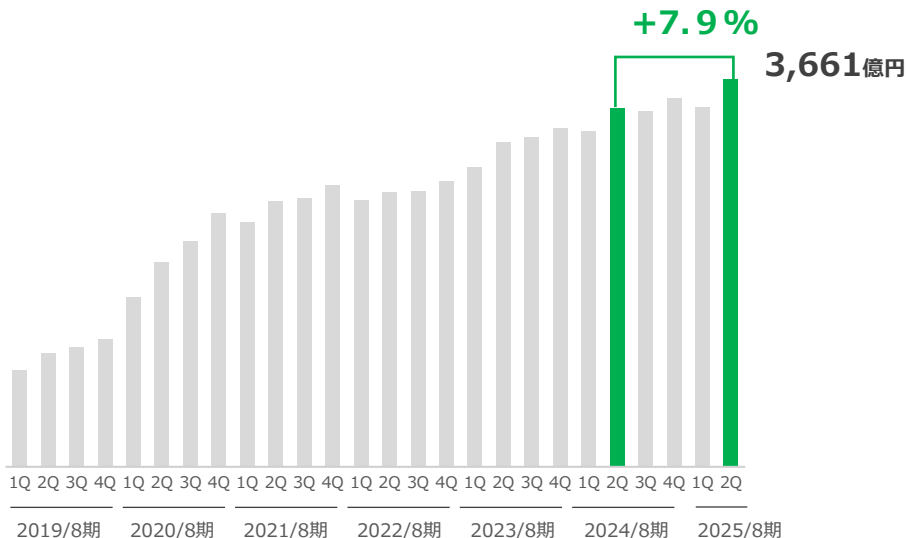
リカーリング売上の推移



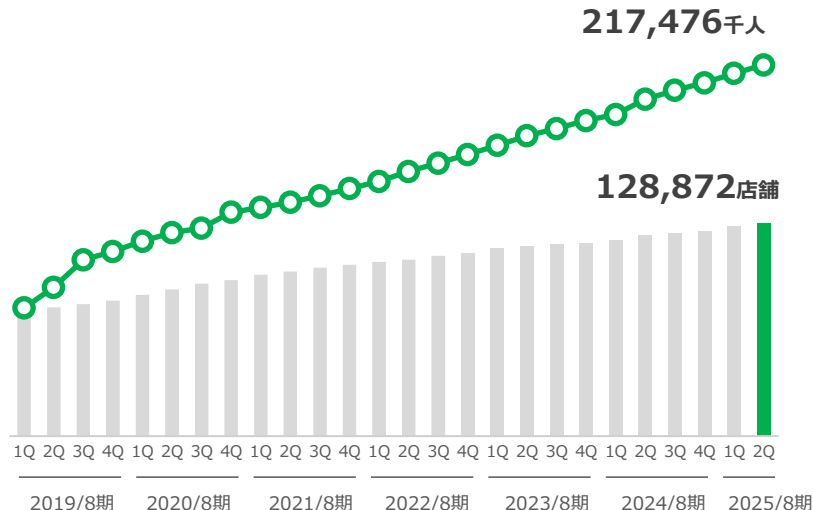
2025年8月期 第2四半期（中間期）キャッシュレスサービス事業の主要KPI

当中間連結会計期間における決済取扱高は705,996百万円となり、前年同期比（単体）で+7.9%増。新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大している。

決済取扱高推移



累計店舗数・累計エンドユーザー数推移



(注) 2022年8月期までは、旧アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

(注) リカーリング売上高に直結する取扱高を下記の通りとし、決済取扱高と定義

1. 独自Payの決済額（従前の“決済額”）

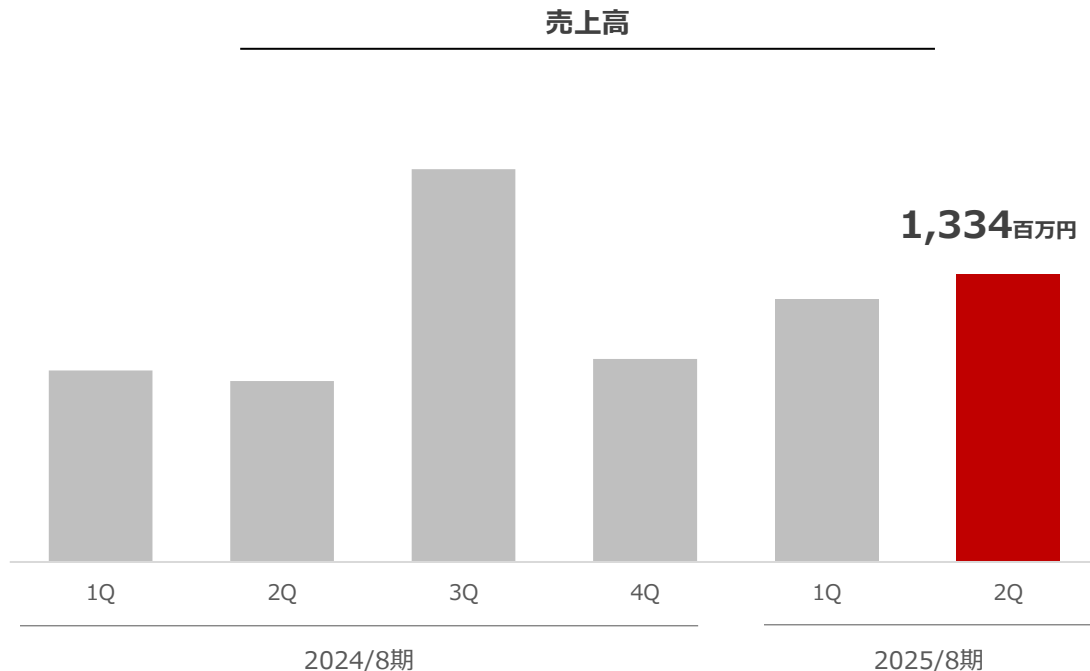
2. クレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額（2023年9月から指標に追加）

2025年8月期 第2四半期（中間期）デジタルサイネージ関連事業の売上高推移

当中間連結会計期間における売上高は2,568百万円を計上。第2四半期単体では1,334百万円。

第1四半期同様に、多店舗・商業施設での導入が堅調に推移し、売上増に貢献。

多店舗で使用するデジタルサイネージ配信管理システム「CloudExa」（リカーリング）と商業施設で使用するLED表示機（スポット）が好調。また店舗以外にも多拠点を有する企業でのオフィスサイネージも増加傾向。



売上の変動について

多店舗展開企業をはじめ、デジタルサイネージの導入は、各店舗への納期計画に基づく。

但し、実際の納期については、企業側の繁忙・閑散にあわせ、計画の組み直しが発生することから、売上の変動が生じる。

季節要因として、年度末・新年度のタイミングで需要が高まる傾向がある。

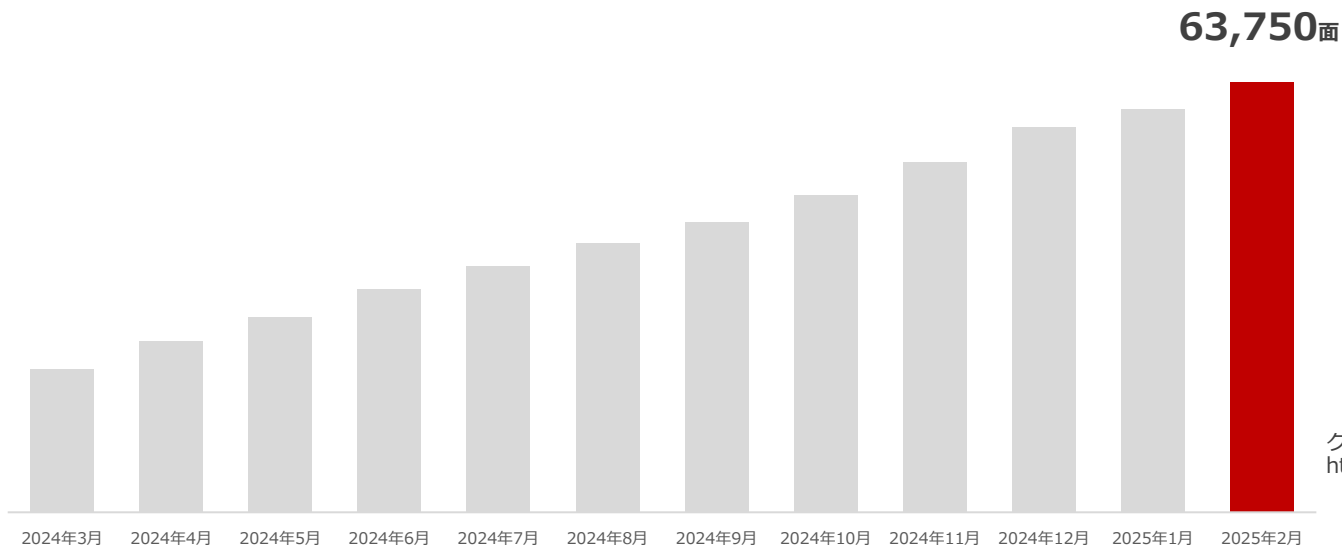


(注) 2024年8月期3Qより、業績を連結。

2025年8月期 第2四半期（中間期）デジタルサイネージ関連事業の主要KPI

デジタルサイネージの新規設置面数は各月で着実に推移し、累計デジタルサイネージ設置面数は63,750面で、第1四半期から+2,950面。引き続き、大手コンビニエンスストア店舗内メニューボード（リテールメディア）、ファーストフード店などを中心にデジタルサイネージの導入が進んだ。

累計デジタルサイネージ設置面数

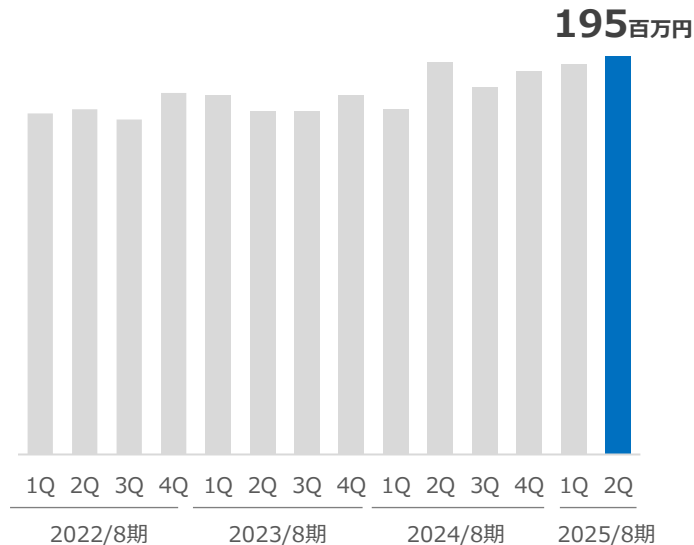


クラウドポイント最新事例紹介ページ
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/>

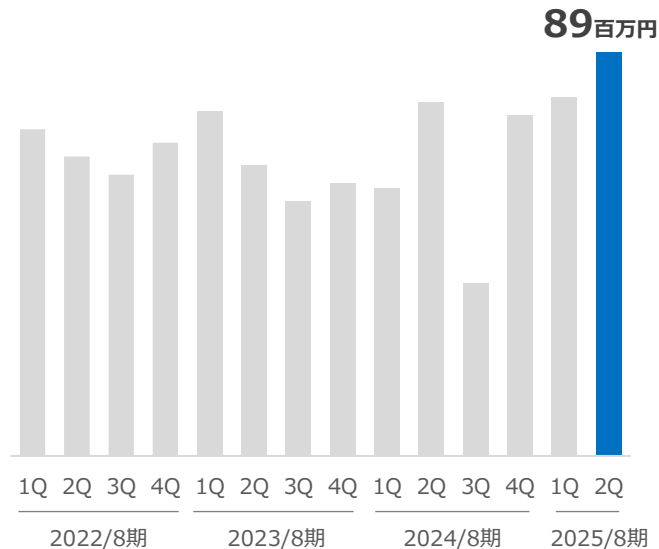
2025年8月期 第2四半期（中間期）ソリューション事業の業績

メッセージングサービスにおいては、効率の良いマーケティング、原価上昇を伴わない受注増により売上が堅調に推移。当中間連結会計期間におけるソリューション事業全体での売上高は387百万円、調整後EBITDAは169百万円。第2四半期単体では、売上高195百万円、調整後EBITDA89百万円。

売上高推移



調整後EBITDA推移



新規事業への取り組み

当社グループでは、国内外での決済手段の変化に対応するべく、より利便性の高いサービスの提供を目指し、タッチ決済分野での新規事業を検討中。2026年8月期から新たな事業の柱として成長・業績計上できるよう、その足掛かりとなる当期は成長投資を進めている。

なお、国が発表している「地域公共交通のり・デザインと社会課題解決の一本化推進」^(注)も、キャッシュレス決済のさらなる普及を後押しするとみている。



背景

- 近年のインバウンド急増による受け入れ環境の整備。日本国内での対応店舗増加。
- 万博の開催、国際ブランドのキャンペーンなどもあり、鉄道・バスなど公共交通機関での稼働、実証実験なども相次いでいる。

タッチ決済の特徴

- 少額決済であればサインや暗証番号入力不要で決済可能。
- スマートフォンのモバイル決済などとも連携。



(注) 2025年3月19日 国土交通省「交通・物流・観光の施策について」https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chukaku/data/20250319sesakusetsumeikai_unyu.pdf

昨今の米国政府の動きによる当社業績への影響について

全体

- ・ 米国の関税政策による業績への影響は現状無い。
- ・ 当社の売上・利益は、ほとんどが国内市場に起因。
(≒海外の影響を受けにくい)

キャッシュレスサービス事業

賃金上昇による物価高の吸収など底堅い内需の成長による決済額の増加が見込める。



デジタルサイネージ関連事業

国内の人口減少を受け、多店舗展開企業のDX化に伴うデジタルサイネージの需要は底堅い。今後も需要は続く見込み。



ソリューション事業

過去におきた市場の大きな変化、感染症爆発時でも、大きな解約はなし。今回も影響を受ける可能性は低い。



1. 連結業績及びビジネス概況

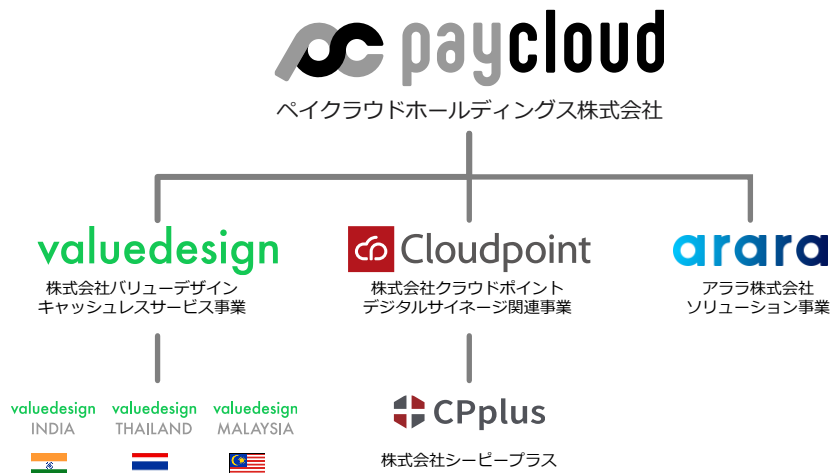
2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

企業概要

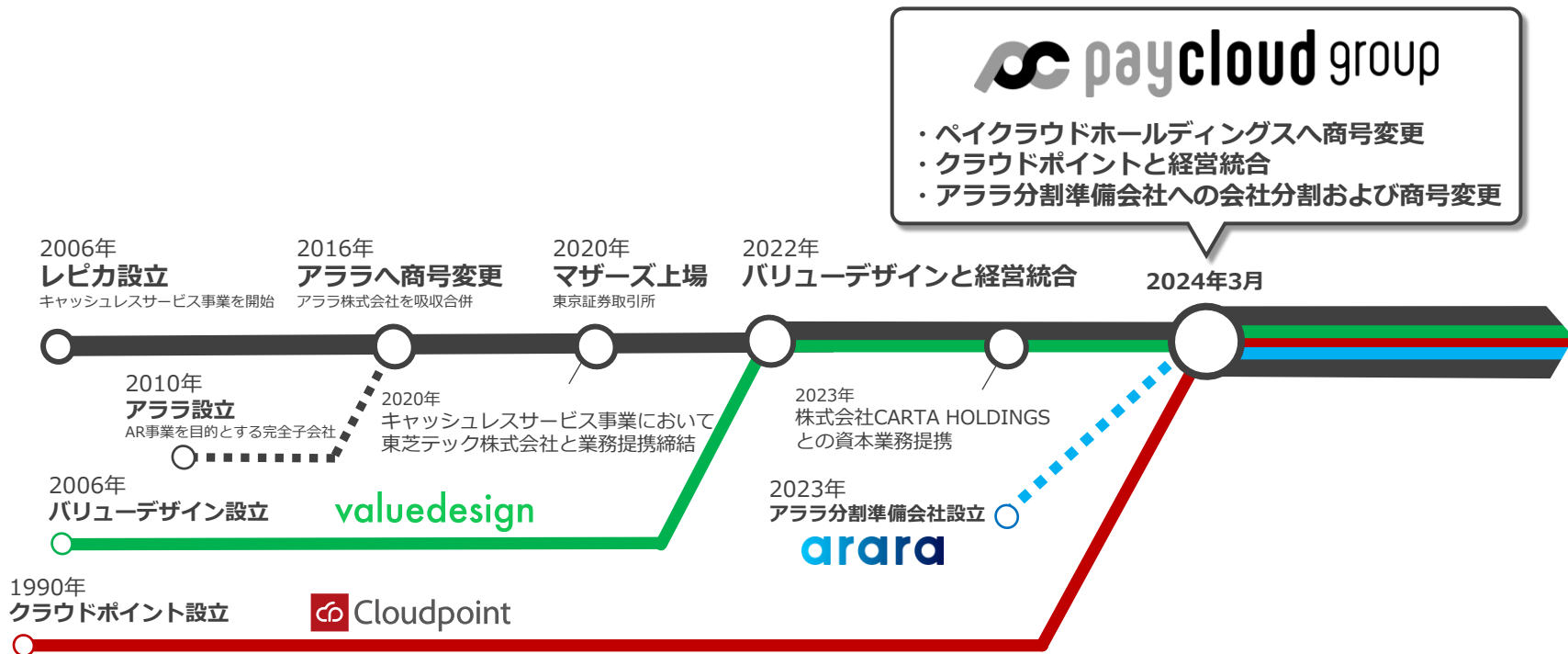
- ・2024年3月1日に純粋持株会社体制へ。
- ・ペイクラウドホールディングスは、バリューデザイン、クラウドポイント、アララを傘下におく。



会 社 名	ペイクラウドホールディングス株式会社		
設 立	立	2006年8月	
所 在 地	東京都港区南青山2-24-15 青山タワービル		
従業員数	(連結)	276名 (2024年8月末時点)	
取 締 役	取締役会長	三浦 厳嗣	
	代表取締役副会長	岩井 陽介	
	代表取締役社長	尾上 徹	
	社外取締役	種谷 信邦	
	社外取締役 (監査当委員)	金子 毅	
	社外取締役 (監査当委員)	井上 昌治	
	社外取締役 (監査当委員)	米田 恵美	
事 業 内 容	ペイクラウドグループ各社の経営管理事業等		
資 本 金	1,021百万円 (2024年8月末時点)		
子 会 社	株式会社バリューデザイン (キャッシュレスサービス事業) 株式会社クラウドポイント (デジタルサイネージ関連事業) アララ株式会社 (ソリューション事業)		

当社の歴史

- ・ キャッシュレスサービス事業からスタートし、政府が掲げるキャッシュレス化推進を背景に事業成長。
- ・ 2022年にバリューデザインとの経営統合でキャッシュレスサービス事業をさらに拡大。
- ・ デジタルサイネージを手掛けるクラウドポイントとの経営統合を経て、リテールマーケティング分野へ事業拡大。



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済取扱高	独自Payにおいて、バリューデザインの独自Pay決済額及びクレジットカード決済額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社グループ各社のサービスを活用している顧客の数
	調整後EBITDA	営業利益＋減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）＋株式報酬費用
	顧客	当社グループ各社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社グループ各社のサービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS（Software as a Service）	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
	ディストリビューション機能	直接顧客には販売せず、販売チャネルへサービスを卸す機能
	オンラインチャージサービス	企業が独自に発行する電子マネー（独自Pay）へのチャージ手段として、クレジットカードや銀行口座からのオンラインチャージを可能にするサービス
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
デジタルサイネージ関連サービス	CloudExa	専用の配信管理アプリケーションを介して、インターネット上に設けられたCloudExaサーバにアクセスし、映像素材のアップロードや放映スケジュールの編成、放映端末への遠隔配信・監視操作が行えるデジタルサイネージシステム
	LED WORLD	クラウドポイント社が販売を行うフルカラーLEDビジョンのオリジナルブランド

月次報告・メディアでの発信

2023年8月期以降、ホームページ上で月次業績報告の開示。

四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。X（旧Twitter）にて公式チャンネルや副社長の井上による情報発信中。

月次業績報告



SNSでの発信



ペイクラウドHD【公式】



@paycloud_inc



<https://www.facebook.com/paycloudHD>



ペイクラウドHD副社長 井上



@hao_inoue



@hao-inoue.bsky.social

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。